

D007-P003

時間 : 5月27日 17:15-18:45

草薙断層・麻機断層変位光波連続観測によるフィリピン海プレート運動の監視

Monitoring of Philippine Sea Plate Motion based on Laser Ranging across Kusanagi and Asabata Faults in Shizuoka, Central Japan

新妻 信明[1]

Nobuaki Niitsuma[1]

[1] 静岡大・理・地球科学

[1] Inst. Geosci., Shizuoka Univ.

静岡大学地殻活動観測所から草薙・麻機断層を挟んで光波測距によりフィリピン海プレート運動を常時監視している。両断層は、中部日本の東西圧縮による急速な隆起に伴う、糸魚川-静岡線に沿う円弧迂り面であり、沈み込むフィリピン海プレートに乗り上げている。草薙断層を挟む谷津山測線(3.7 km)には、数 cm の変動が観測されている。フィリピン海東縁の太平洋プレート境界地震後、距離が伸長し、フィリピン海プレート北西縁地震の後1ヶ月程度遅れて距離が短縮している。年初を最小と6月を最大とする年周変化と短縮が1999年から継続している。